

2020年11月18日  
アルベルト  
株式会社ALBERT

**【ALBERT】3次元空間認識、動画認識等を研究するリサーチャーが  
高い専門性を活かして企業の研究開発部門の支援を開始  
～最先端のAI技術を掛け合わせ、企業のコア技術の研究開発を加速～**



イメージ：「微分可能レンダリングを用いた三次元復元」技術。  
3次元データの活用は、自動運転、医療、建築など幅広い分野に应用が期待される。

株式会社ALBERT（アルベルト、本社：東京都新宿区、代表取締役社長：松本壮志、以下ALBERT）は、これまで一部の取引先のみを提供していた「研究開発支援サービス」を、11月18日より、広く企業の研究開発部門を対象に提供を開始します。

深層学習（ディープラーニング）をはじめとした機械学習等の高度な専門知識やノウハウを持つリサーチャーが、多様化するテクノロジーの急速な変化や企業独自の課題に即した実務支援を行います。

**■コロナ禍でも各産業で高まる研究開発需要、AI活用・DX促進のための人材不足が課題**

新型コロナウイルス感染症拡大の状況下においても、国内の研究開発費は、中長期的な戦略のもと増加傾向にあります\*1。一方、同業他社との競争激化や、AI活用・DX促進等のさらなる進展により、研究開発人材の獲得競争は激化しています\*2。業界ごとの特性や現場を理解し、課題解決・目的の実現に必要なテクノロジーを組み合わせ使用することができる人材の需要が高まっているものの、人材不足は世界的な課題になりつつあります。

このような環境の中、ALBERTは230名超のデータサイエンティストが在籍し、AIのシステム実装を視野に入れた産業・企業の開発パートナーとして、「ビッグデータ分析」「AIアルゴリズム開発」「システム実装」等のソリューションを提供しています。さらに、2020年1月からは先端技術に関する調査・研究・開発等を担うスペシャリストであるリサーチャーを集めた先進技術部を新設しており、この度クライアントのニーズ拡大に伴い、本サービスの開始に至りました。

\*1…出所：日刊工業新聞社「研究開発（R&D）アンケート」（2020年8月11日発表）<https://www.nikkan.co.jp/articles/view/00567679>

\*2…出所：日刊工業新聞社「20年度R&Dアンケート（2）得意技術でコロナ関連開発」（2020年8月11日発表）

<https://www.nikkan.co.jp/articles/view/00567468>

## ■新サービス 概要

深層学習を細部まで理解しているリサーチャーが、「最新論文の調査」「論文手法の実装・公開コードの移植」「最新フレームワークへの移植」等、最新の技術に対するアップデートを支援します。一時的に高い専門性が必要な場面等において、業務単位でニーズに合わせた人数や期間等を調整できるため、柔軟にプロジェクトを進めることが可能です。また、リサーチャーは画像や自然言語はもちろん、点群、音声、触覚、振動など様々なデータを用いた研究を日々行っており、幅広い分野への応用にも対応できます。

### 【支援実績例】

深層学習を細部まで理解したリサーチャーが、最新論文の調査、論文手法の実装等を支援します。サンプルデータだけでなくお客様の実データを用いた精度評価等の実績も数多くあります。

- ・ 敵対的生成モデルを用いた効果音から振動への変換モデルの構築
- ・ 敵対的生成モデルを用いた画像のテキスト変換モデルの構築
- ・ 自己教師あり学習を用いた動画内のイベント検出モデルの構築
- ・ 軽量かつ高精度なセグメンテーションモデルの構築
- ・ ベイズ深層学習を用いたモデルの弱点画像分析
- ・ 注視領域可視化手法の物体検出モデルへの応用 等

### 【サービス詳細について】

研究開発支援サービス：<https://www.albert2005.co.jp/service/project/rd/>



## ■株式会社 NTT ドコモ様からのエンドースメント

ALBERT 様には弊社でもいくつかのプロジェクトでご助力をいただいております、非常に高い技術力をお持ちだと実感しています。深層学習をはじめとする先進技術分野における確かな専門性・技術力をお持ちのデータサイエンティストによる最先端の研究開発活動支援が期待できると考えます。

株式会社 NTT ドコモ クロステック開発部 田中 宏昌様

## ■参考：ALBERT が実施している研究開発事例

- ・ ニューラルネットワークによる三次元空間の復元と表現
- ・ カメラ画像からの深度・姿勢推定
- ・ 遮蔽に頑強な物体追跡手法の開発
- ・ アノテーション負荷を減らした集団行動の認識
- ・ 物体に注目した動画像の表現の獲得
- ・ 触覚を用いたロボットの実世界認識 等

## ■今後の展望

研究開発をさらに加速させるべく、今後リサーチャーの増員及び分析環境の拡充を目指します。また、自社だけでなく企業の開発研究部門への支援を通して、AI 技術の社会実装に貢献する取り組みをさらに推進していきます。

## ■株式会社 ALBERT

所在地 : 東京都新宿区北新宿 2 丁目 21-1

設立日 : 2005 年 7 月 1 日

代表者 : 代表取締役社長 松本壮志

証券コード : 3906 (東京証券取引所マザーズ)

事業内容 : データソリューション事業

AI 活用コンサルティング / ビッグデータ分析 /

AI アルゴリズム構築とシステム開発・運用 / AI を用いた独自プロダクトの提供 /

データサイエンティストの育成支援



### 【本リリースに関するお問い合わせ先】

株式会社 ALBERT 経営戦略部 鈴木

TEL : 03-5937-1610 HP : <https://www.albert2005.co.jp/>